



2014年3月期 第2四半期
決算説明会

2013年11月14日

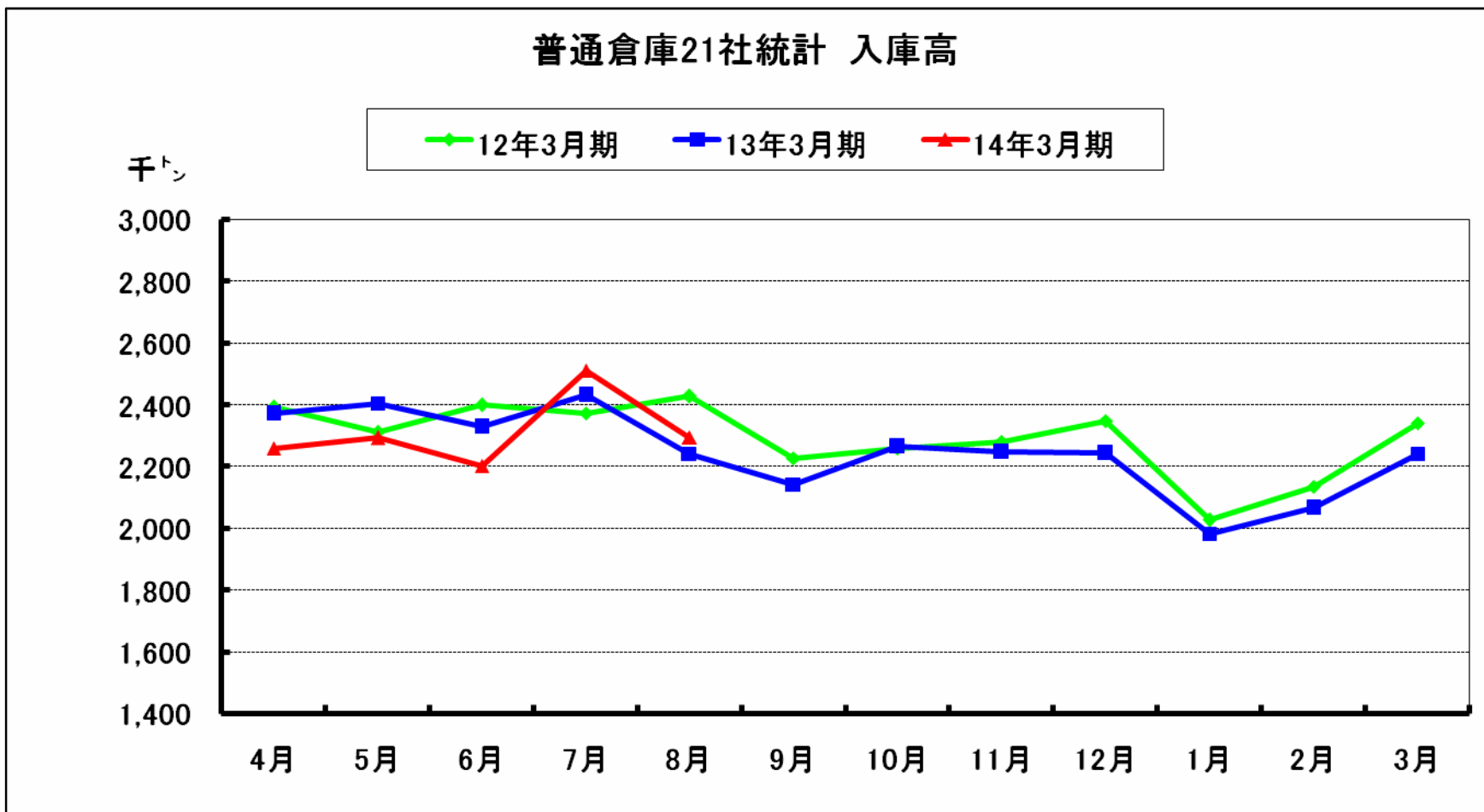
証券コード：9324 <http://www.yasuda-soko.co.jp/>

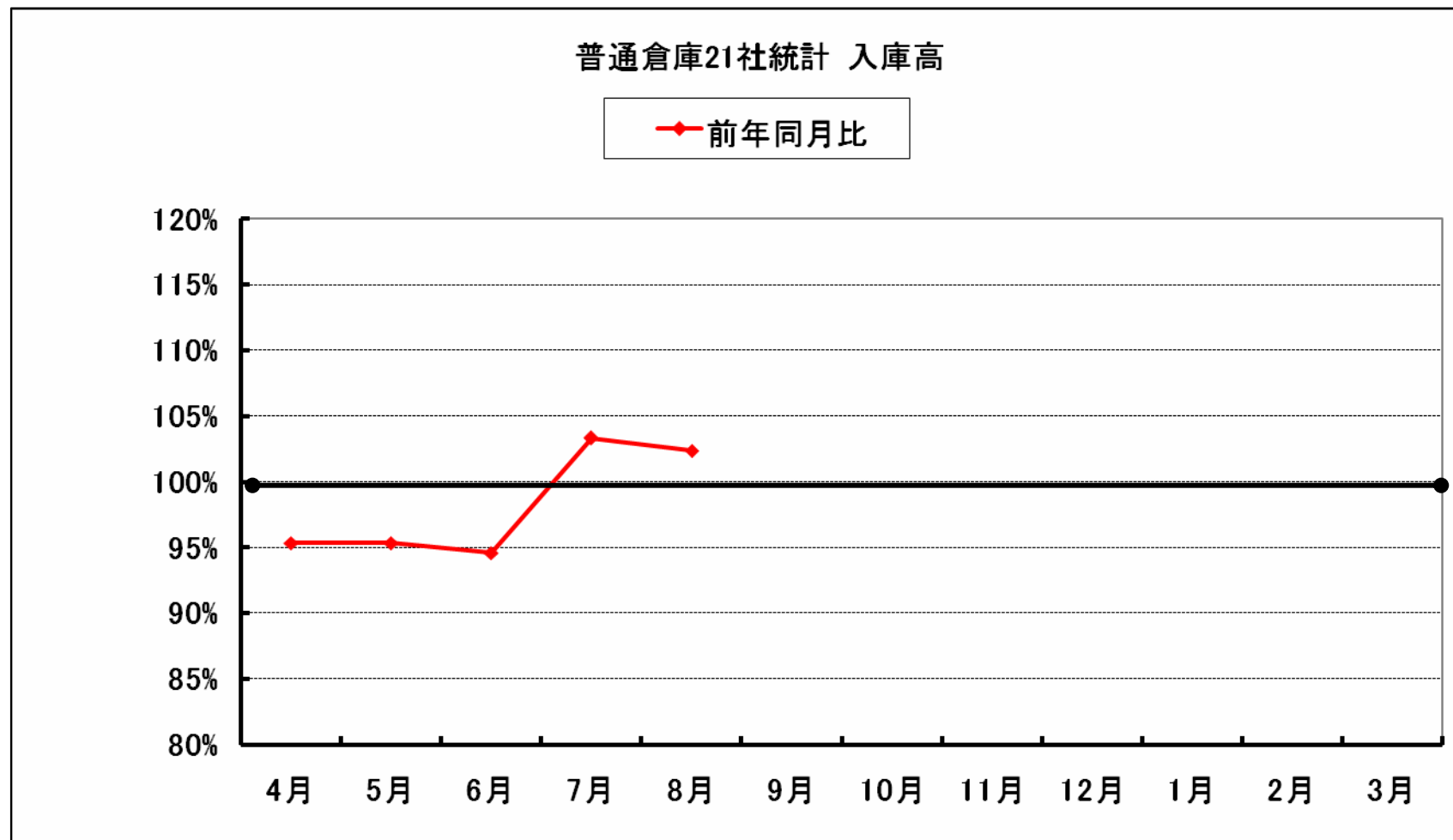
1. 環境認識

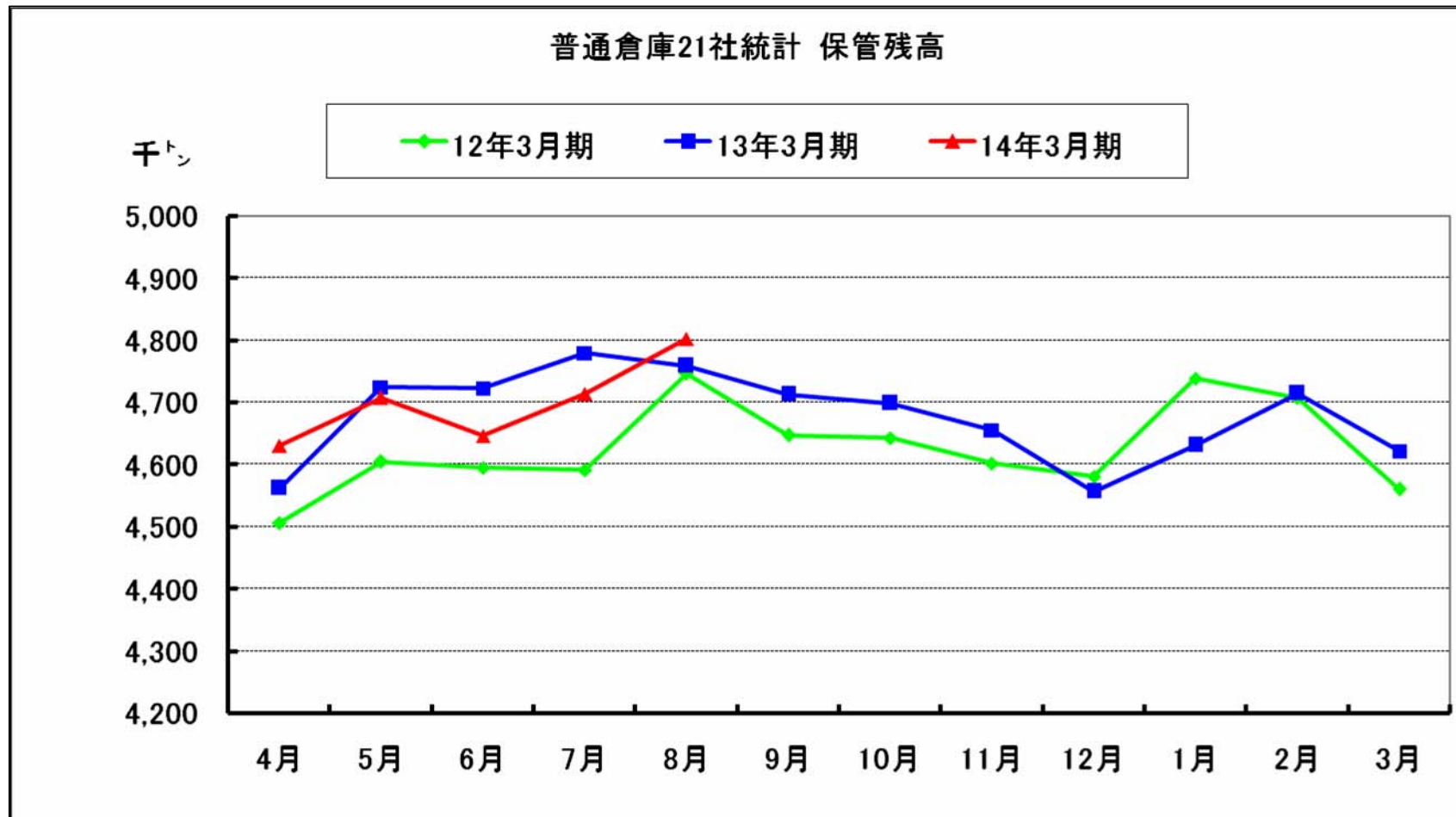
2. 2014年3月期 第2四半期(上期)の実績

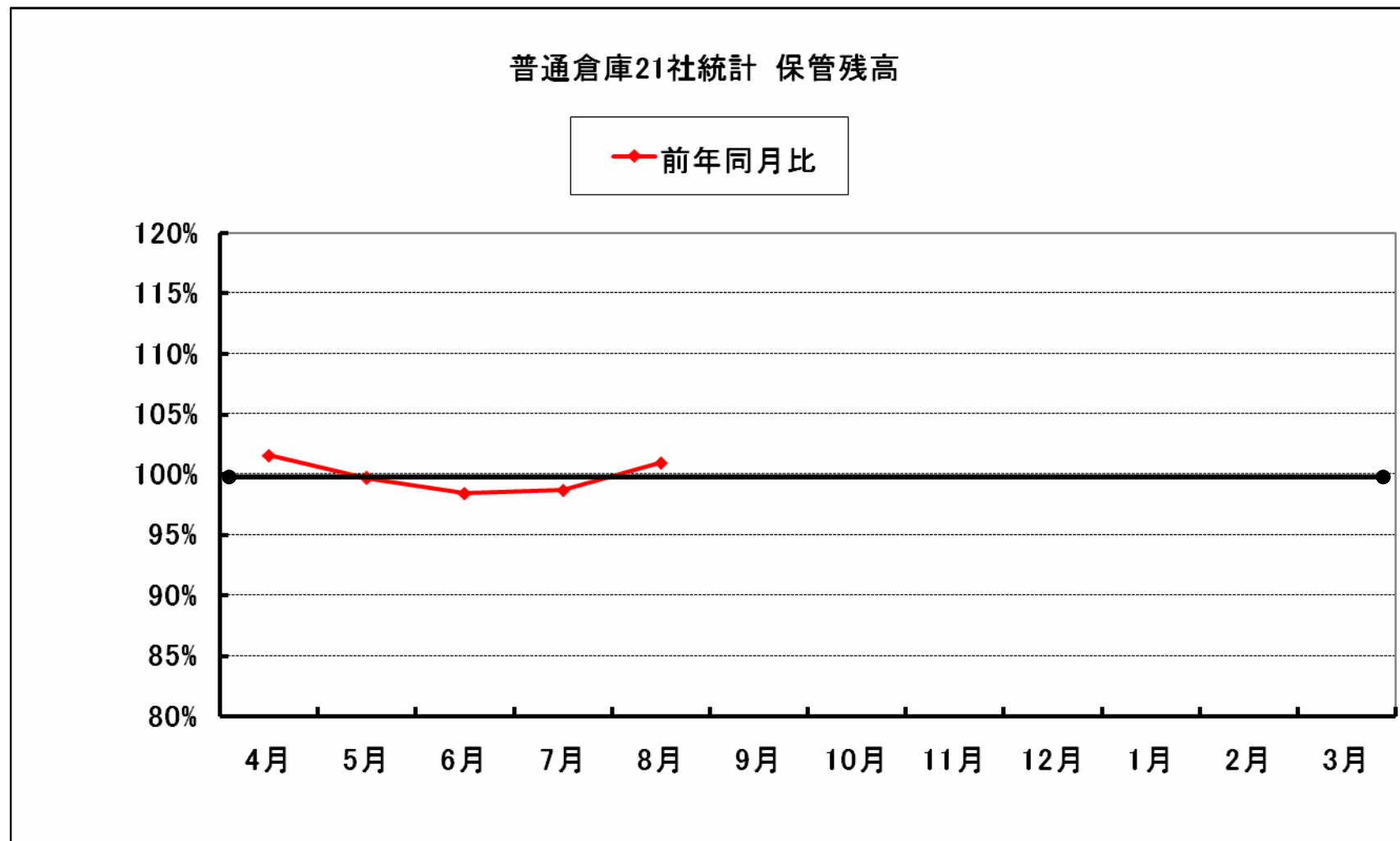
3. 2014年3月期 通期の見通し

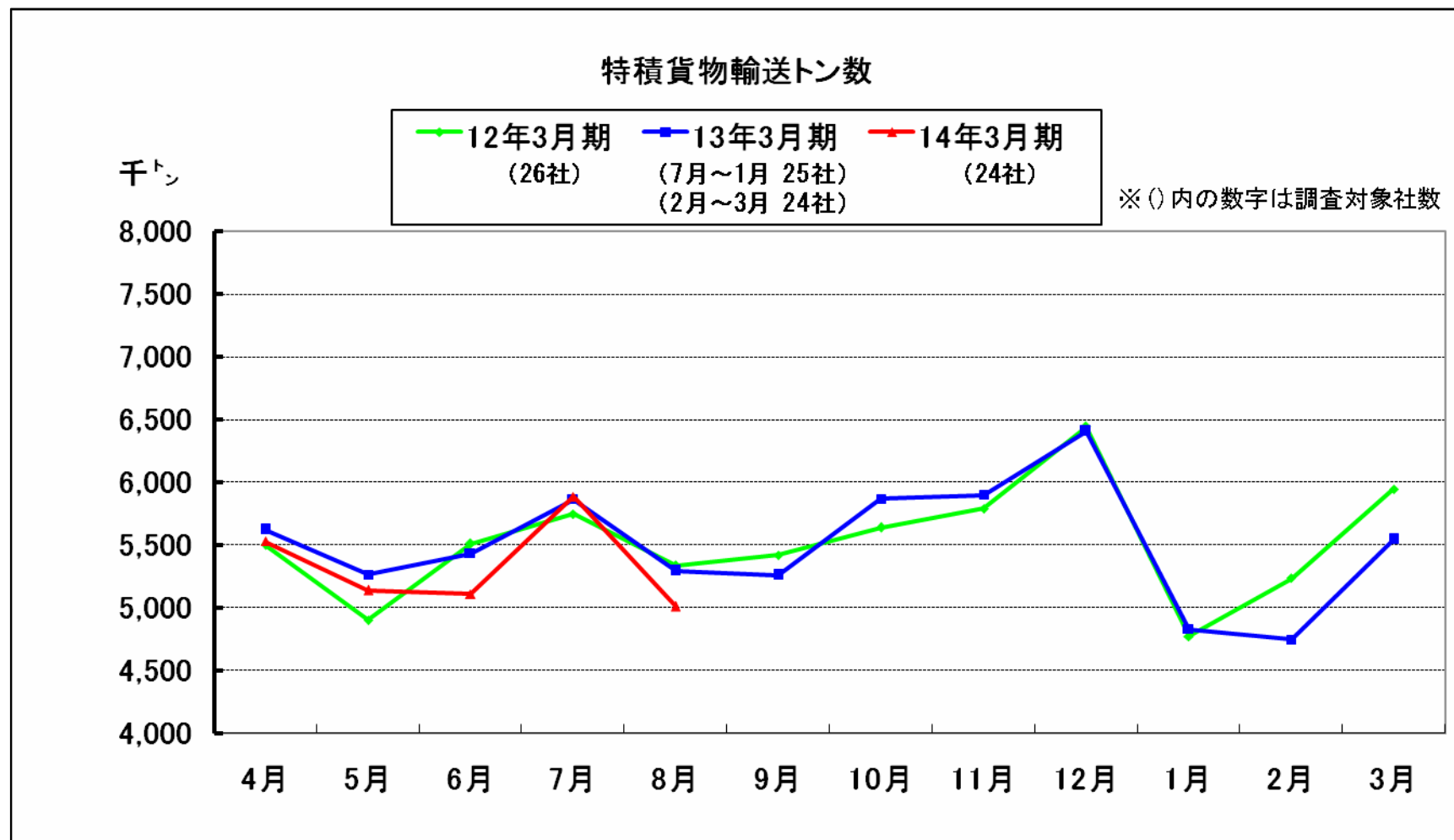
1. 環境認識

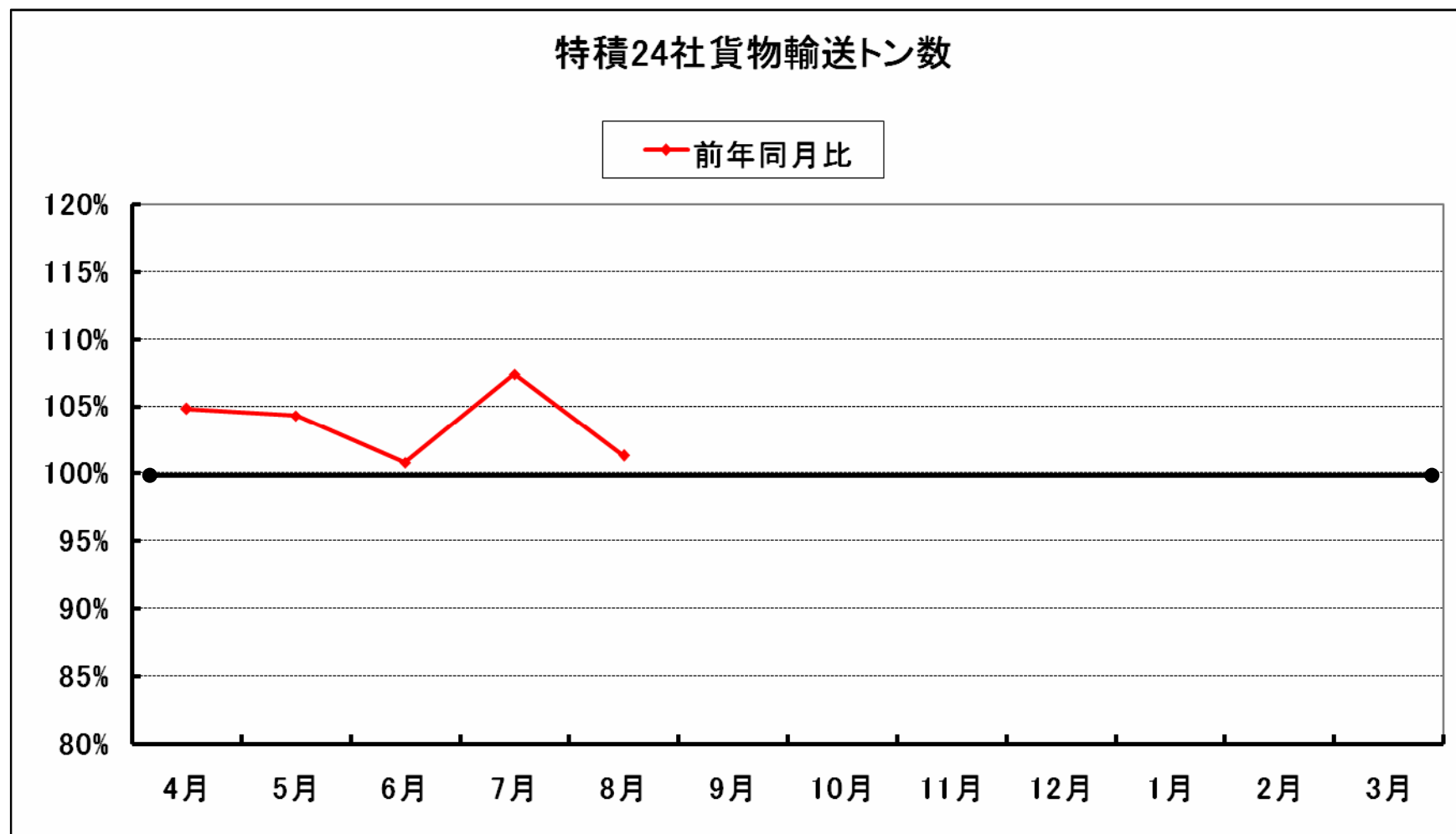




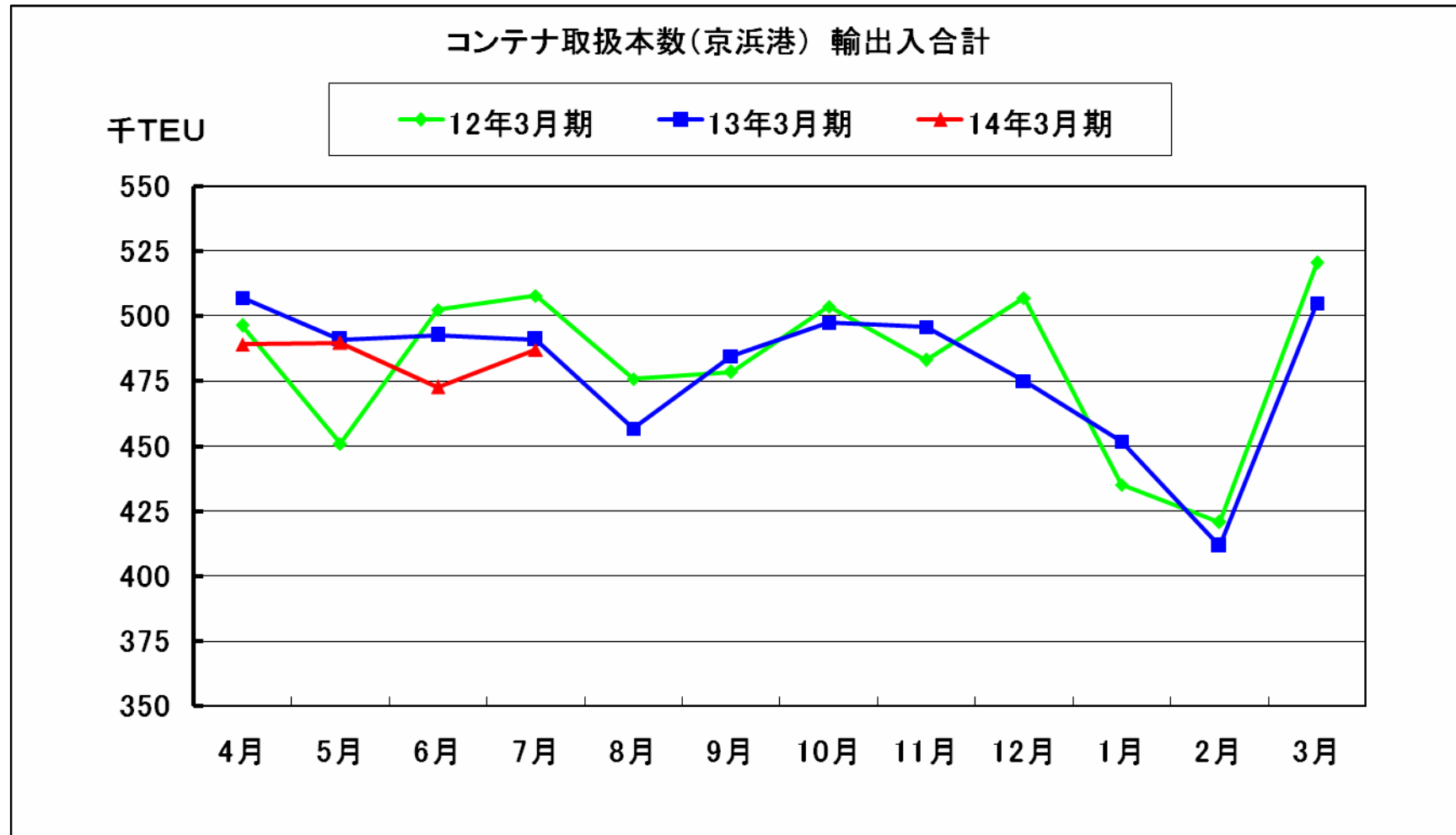


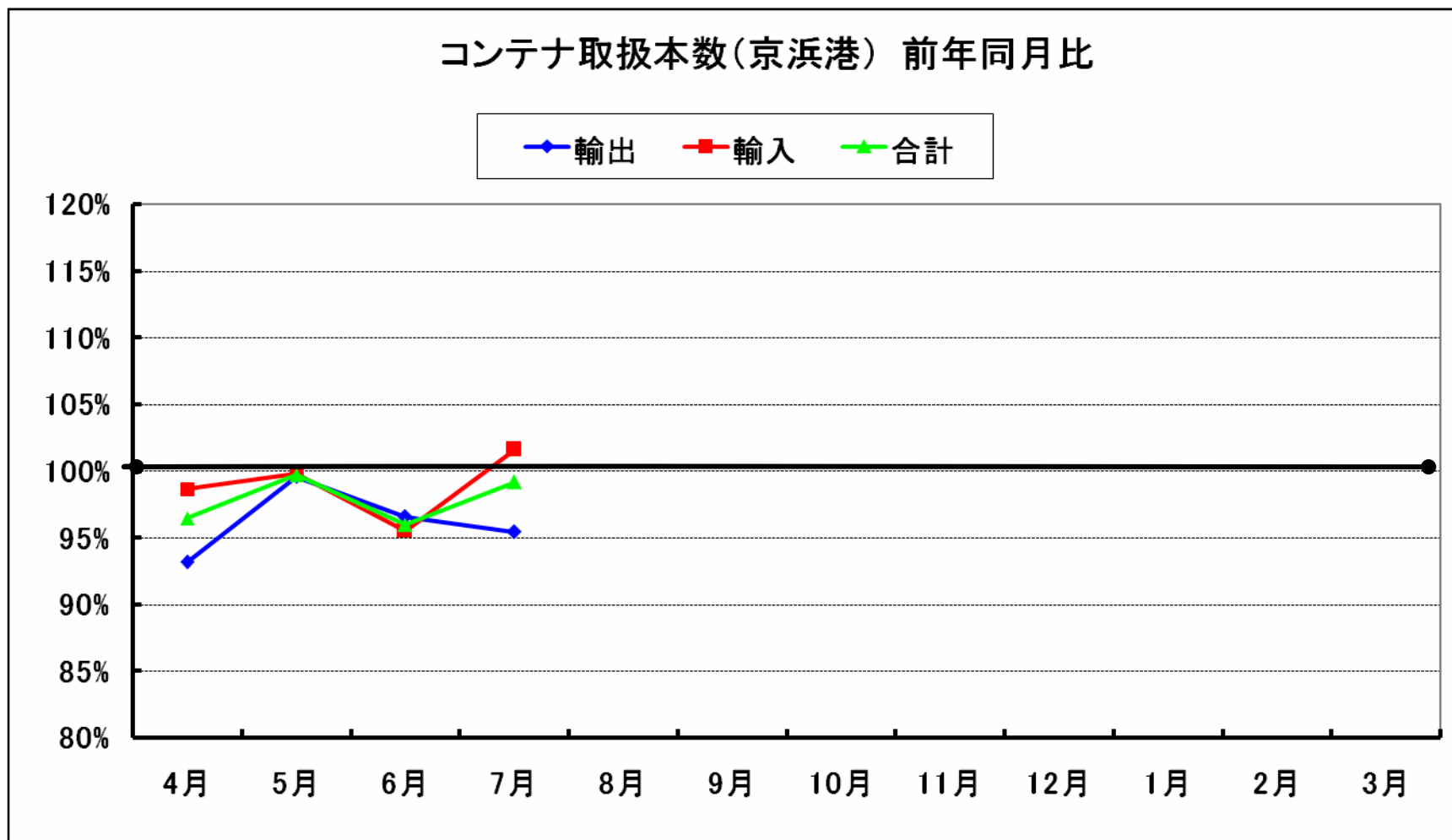


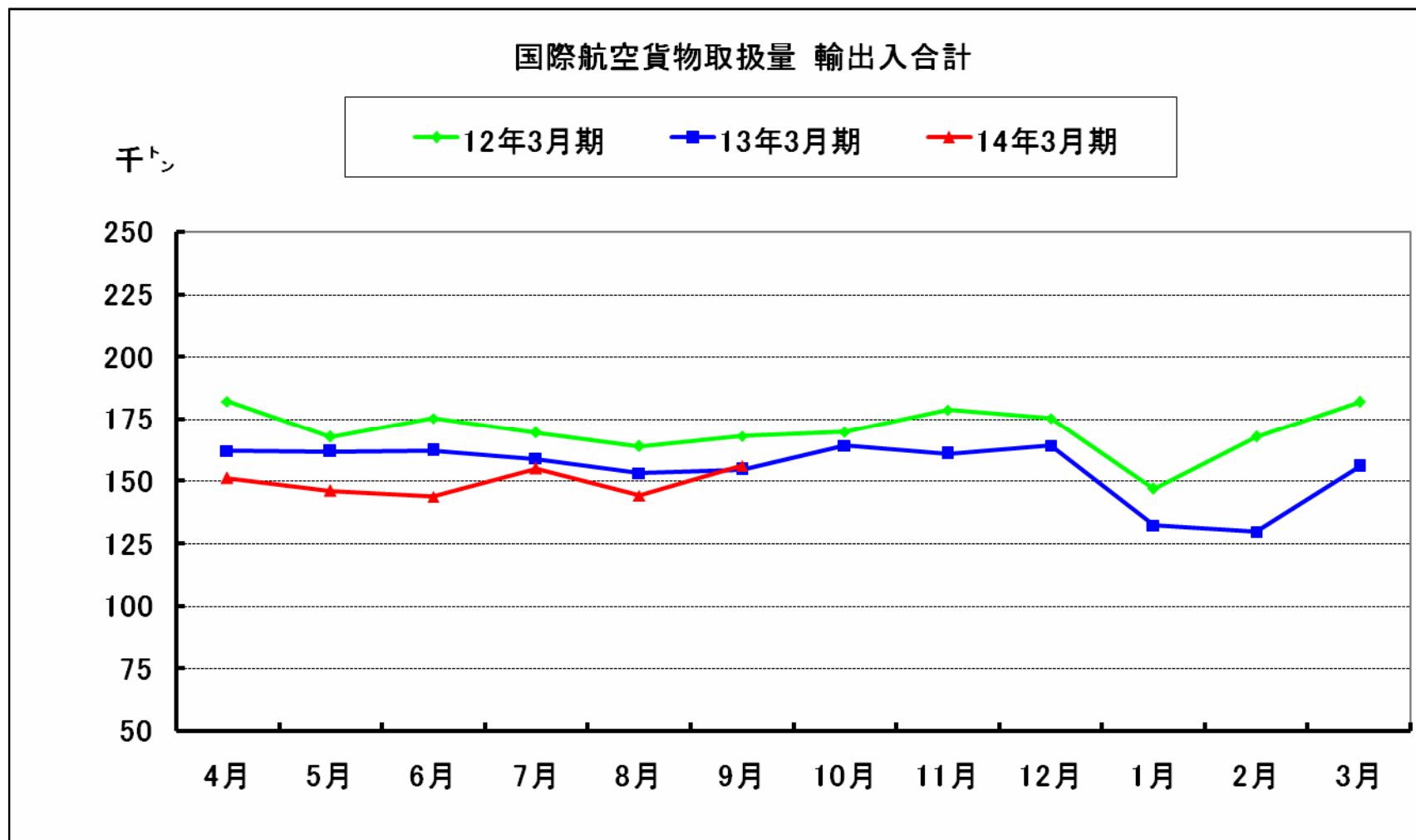


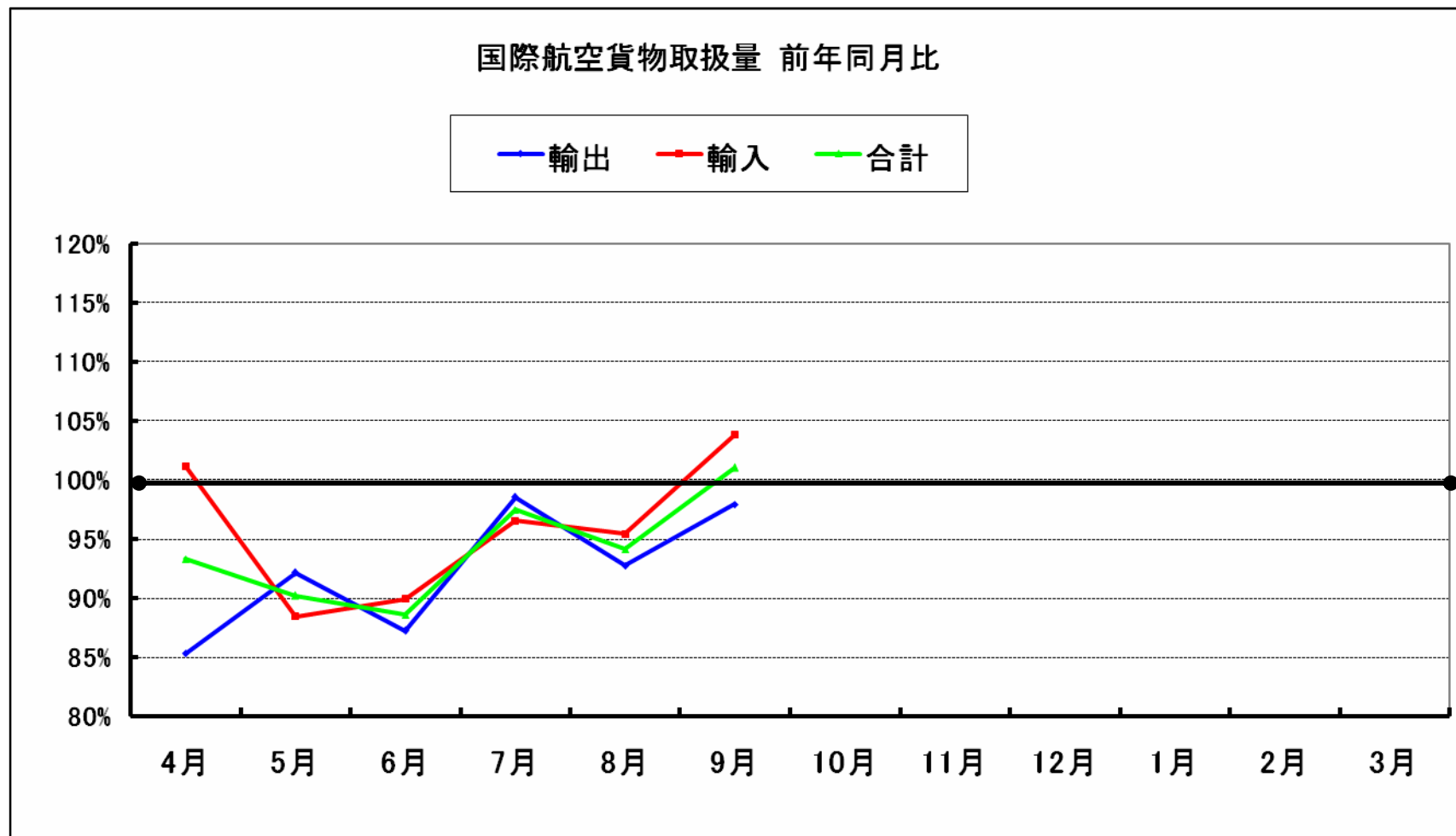


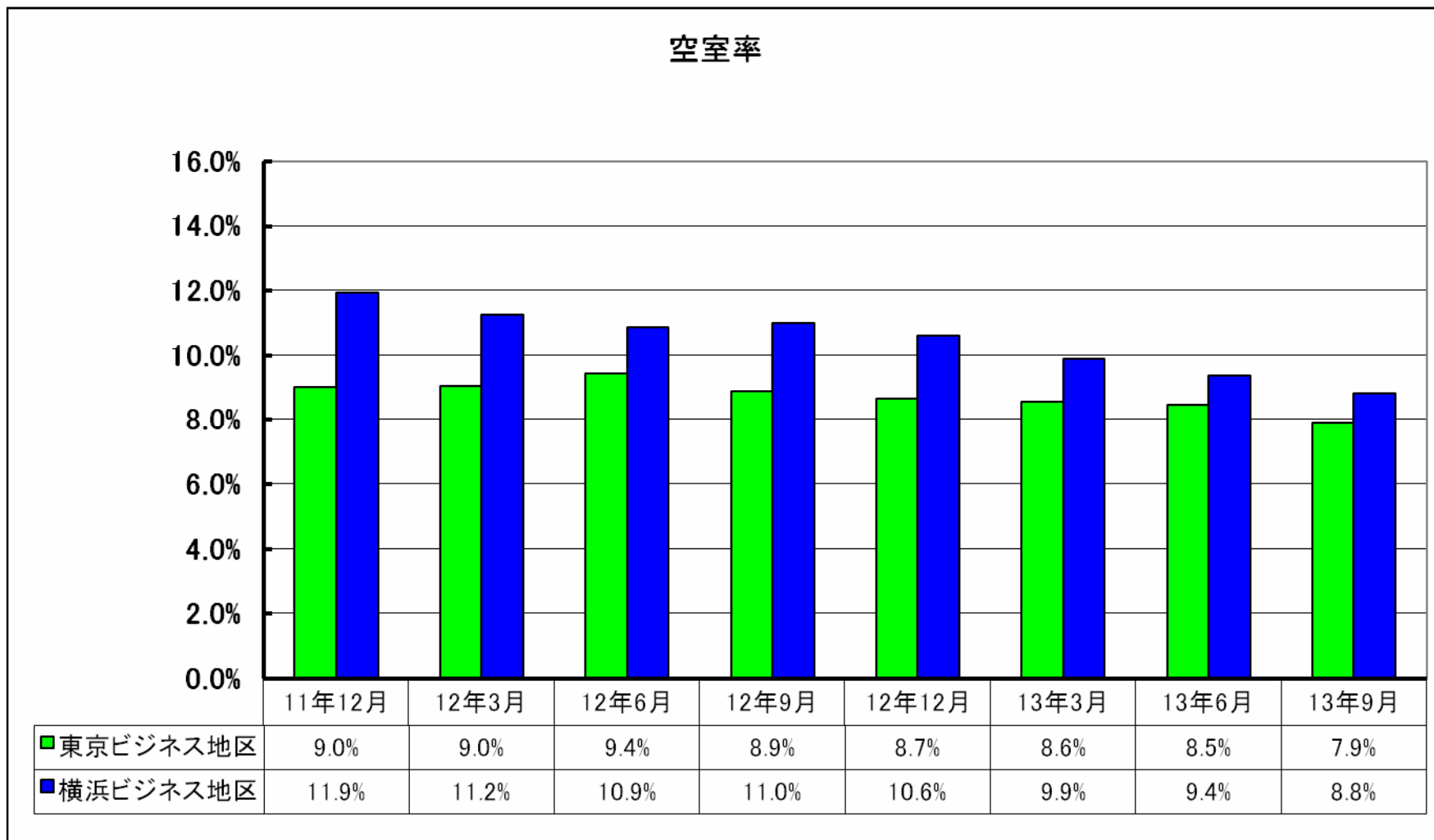
※前年同月比は24社ベースで比較

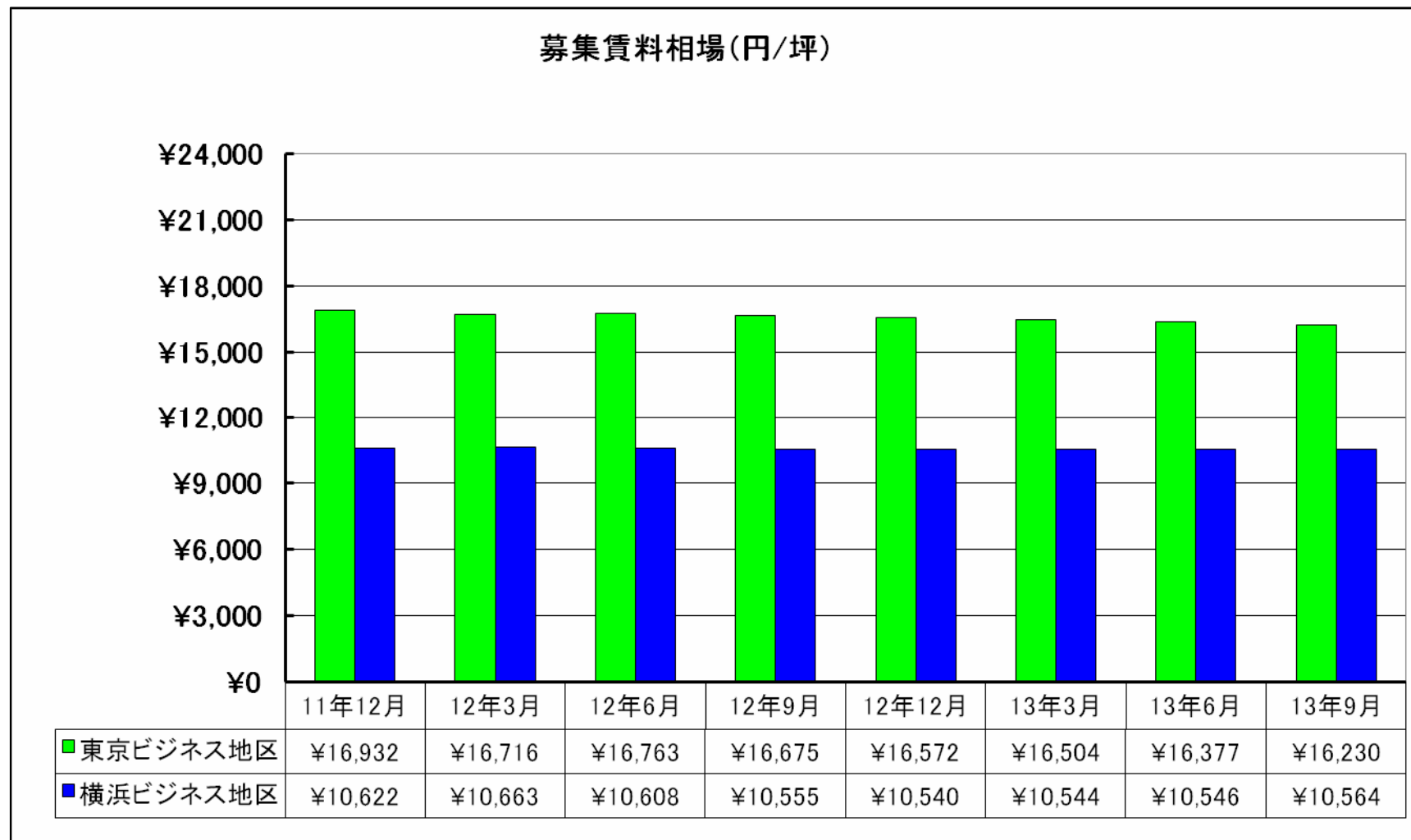












2. 2014年3月期 第2四半期(上期)の実績

単位:百万円

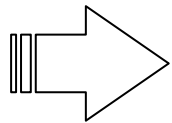
前年同期対比	連 結		増減(額)	増減(率)
	12/4-9	13/4-9		
営業収益	17,390	17,383	▲ 7	-0.0%
営業利益	1,359	1,240	▲ 119	-8.8%
経常利益	1,379	1,354	▲ 24	-1.8%
四半期純利益	815	839	23	2.9%
売上高営業利益率	7.8%	7.1%	▲0.7pt	-9.0%
四半期純利益/株(円)	26.88	27.67	0.79	2.9%

期初予想値対比	13/4-9			
	期初予想	実績	差額	達成率
営業収益	17,250	17,383	133	100.8%
営業利益	1,300	1,240	▲ 59	95.4%
経常利益	1,300	1,354	54	104.2%
四半期純利益	750	839	89	111.9%

セグメント別業績

百万円

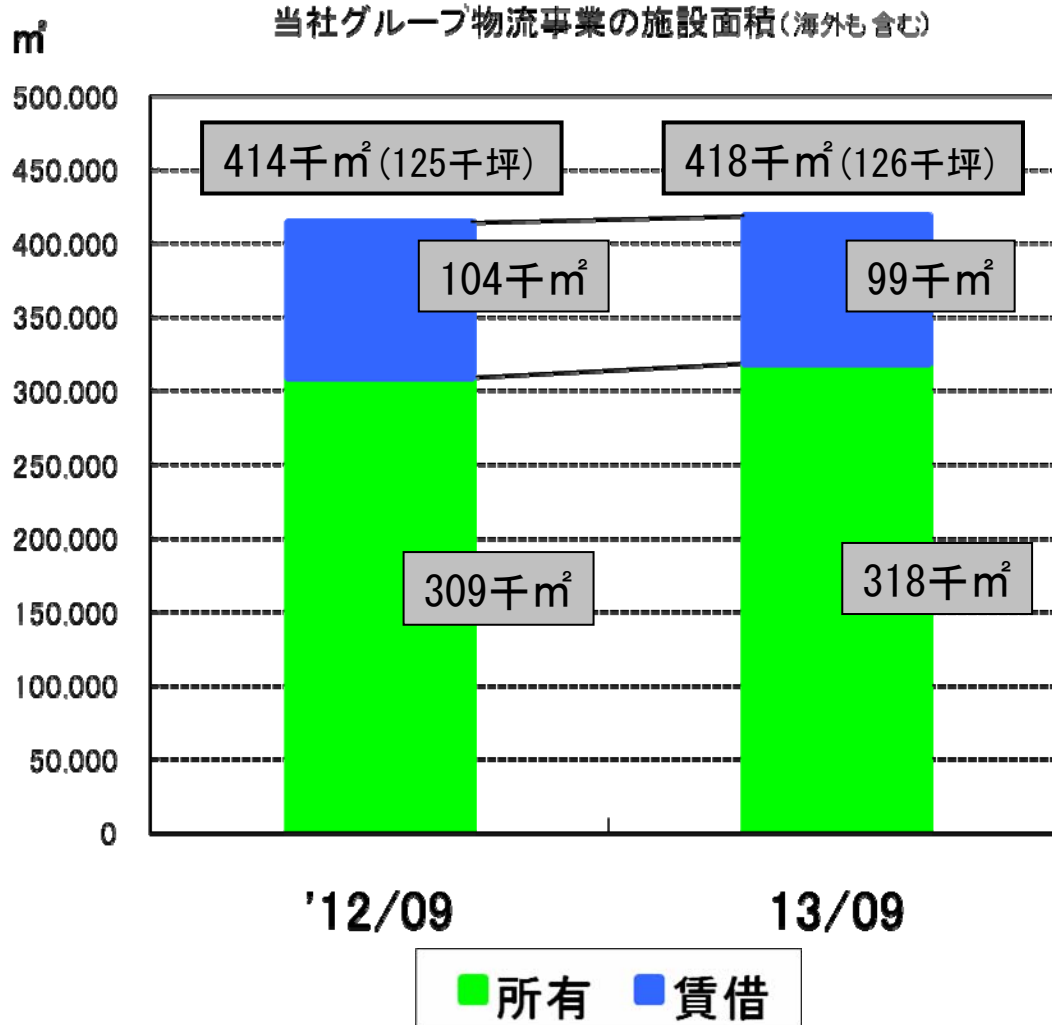
		実績	構成比	前年同期比 額	率
物流事業	営業収益	14,660	82.9%	237	1.6%
	営業利益	1,082	50.6%	▲ 41	-3.7%
不動産事業	営業収益	3,026	17.1%	▲ 176	-5.5%
	営業利益	1,058	49.4%	▲ 41	-3.7%



物流事業は増収減益、不動産事業は減収減益

✓ 物流事業は、国際貨物を中心に取扱が増えるも、修繕費や光熱動力費などの営業原価の増加により増収減益。

✓ 不動産事業は、大型工事の受注減少により減収減益。



【期末面積増減要因 対前期末】

(賃借)

- ・ システム流通センター : - 12千m²
- ・ 大黒流通センター : + 4千m²
- ・ 北海安田倉庫 : + 3千m²

(所有)

- ・ 加須第二増築棟(A棟) : + 9千m²

連結営業収益科目別対比

百万円

	12/4-9	13/4-9	増減(額)	増減(率)	
保管料	2,942	3,004	62	2.1%	物流
倉庫作業料	2,858	2,858	0	0.0%	
陸運料	4,030	4,069	39	1.0%	
国際貨物取扱料	2,960	3,067	107	3.6%	
物流賃貸料	815	816	0	0.1%	
その他(物流)	808	833	25	3.1%	
不動産賃貸料	2,173	2,181	8	0.4%	不動産
その他(不動産)	802	550	▲ 251	-31.3%	
合計	17,390	17,383	▲ 7	0.0%	

✓ 物流事業では、保管料、陸運料、国際貨物取扱料が前年比増となり増収となった。

- 1 保管 ; 既存取引拡大、新規取引の開始およびスポット貨物取扱により増収。
- 2 作業 ; 貨物取扱は順調も、流通加工の減少により前年並み。
- 3 陸運 ; A T M関連の取扱好調により増収。
- 4 国際貨物 ; 航空貨物取扱減少も中国を中心とした海上貨物での取扱増加などにより増収。

1 新規取引の開始

- (1) 分析機器の倉庫/配送業務 … 大井埠頭営業所
- (2) 音響機器の倉庫/配送業務 … 芝浦営業所
- (3) 家電の倉庫/配送業務 … 新山下営業所
- (4) 作業用品の倉庫/配送業務 … 北海安田倉庫

2 既存取引の拡大

- (1) アパレルの輸送業務 … 国際輸送センター、ジャカルタ等

3 新物流技術

- (1) RFIDの導入 … 棚卸システム
- (2) LCLSの稼働 … サプライチェーン業務サポート

4 関西での新倉庫の稼働

2014年1月稼働予定

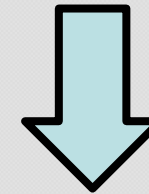
【概要】

- 名称 : 茨木営業所
- 所在地 : 大阪府茨木市
- 階数・構造 : 地上5階建て
鉄筋コンクリート造
- 延床面積 : 23,308㎡(約7,050坪)
- 施設の特徴 : 停電時においても事業継続できるように非常用発電機を設置
環境に配慮し、太陽光発電を設置



5 新会社の設立

安田メディカルロジスティクス株式会社
10月設立



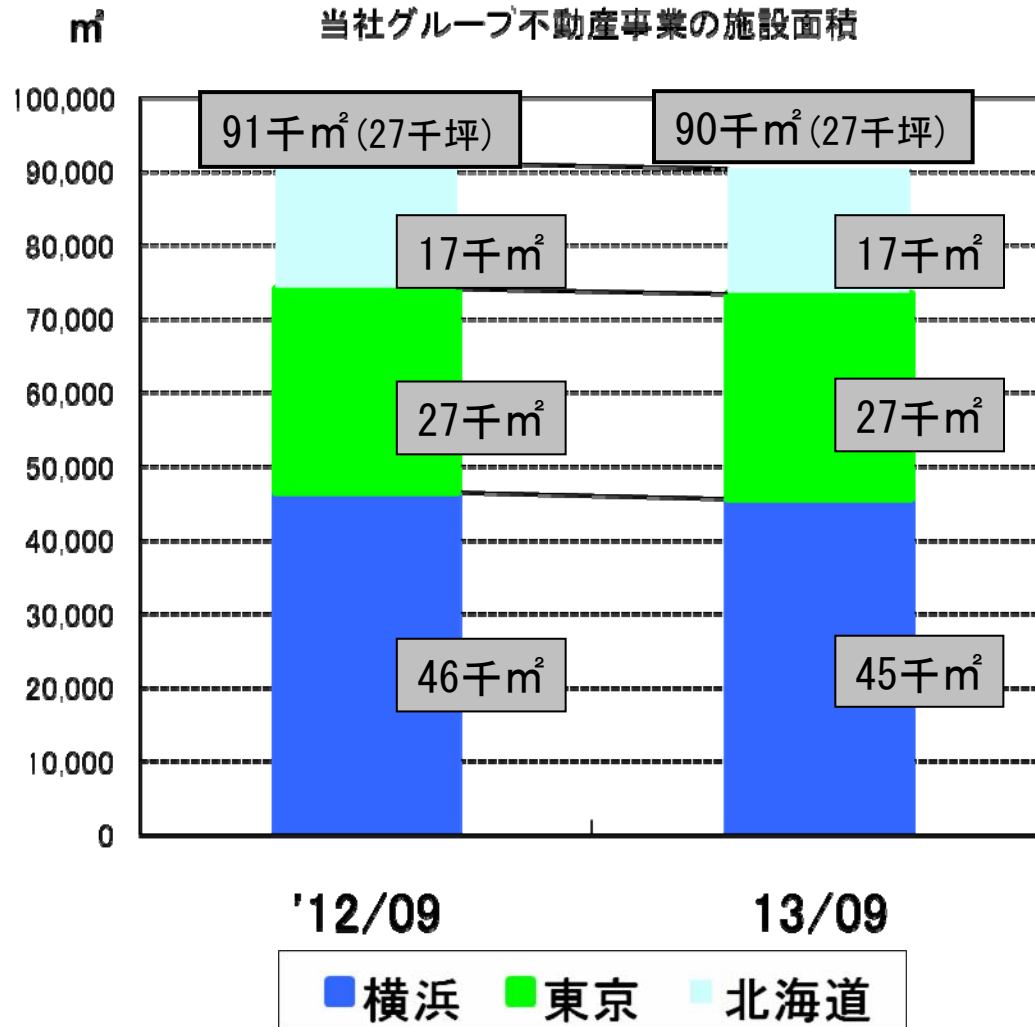
医療機器、医薬品、試薬など
メディカル分野における物流
サービスのさらなる推進を目指す

6 海外・国際物流の拡大

ベトナム ホーチミン拠点

12月開設予定





【期末面積増減要因 対前期末】

(横浜)
賃貸ビルの一部募集中止

連結営業収益科目別対比

百万円

	12/4-9	13/4-9	増減(額)	増減(率)	
保管料	2,942	3,004	62	2.1%	物流
倉庫作業料	2,858	2,858	0	0.0%	
陸運料	4,030	4,069	39	1.0%	
国際貨物取扱料	2,960	3,067	107	3.6%	
物流賃貸料	815	816	0	0.1%	
その他(物流)	808	833	25	3.1%	
不動産賃貸料	2,173	2,181	8	0.4%	不動産
その他(不動産)	802	550	▲ 251	-31.3%	
合計	17,390	17,383	▲ 7	0.0%	

✓不動産事業では、大型工事の受注減少により減収となった。

設備投資・借入金



百万円

	12/4-9	13/4-9	増減	(予想) 14/03期
設備投資額 主な投資案件	1,041	1,238	197	約4,300
減価償却費	1,036	1,024	▲ 12	約2,200
期末借入金残高	23,958	23,972	14	約25,000

3. 2014年3月期 通期の見通し

✓ 物流事業

- ・ 営業能力（施設面積）は茨木営業所完成（約7,000坪）による増床と賃借スペースの一部返却（約1,000坪）を見込む。
- ・ 国際貨物取扱およびATM関連の運送は、引き続き好調を見込む。

✓ 不動産事業

- ・ 営業能力（施設面積）は横浜地区隣地建物の取得（約800坪）により増床。
- ・ 大口テナントの入替による一時的な空室の発生を見込む。

業績予想(通期)



期初予想を据置き

百万円

	13/03期 実績	14/03期 業績予想	13/03期比 額	比率
営業収益	34,809	35,400	590	1.7%
営業利益	2,653	2,600	▲ 53	-2.0%
経常利益	2,669	2,600	▲ 69	-2.6%
当期純利益	1,598	1,550	▲ 48	-3.0%

✓ 営業収益は営業能力（施設面積）の増加、貨物取扱の拡大により前期比増を見込む。営業利益は新設倉庫の稼働コストなどにより前期比減を見込む。

<配当方針>

安定配当を基本としつつ、利益水準等を勘案して決定

2010年3月期	年間配当14円	(連結配当性向29.7%)
2011年3月期	年間配当14円	(同44.3%)
2012年3月期	年間配当14円	(同29.9%)
2013年3月期	配当水準維持	(同26.6%)
2014年3月期	配当水準維持予定	(同27.4%)

年間配当14円予定

(中間配当：7円、期末配当：7円)

- ✓ 茨木営業所の高稼働率でのスタート
- ✓ 国際貨物取扱の拡大(大型設備輸送など)
- ✓ 不動産賃貸における稼働率の維持

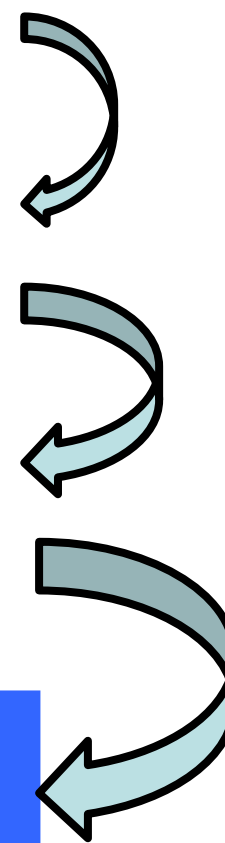
お客様を支える存在になる為に

「品質」と「生産性」の向上

お客様の潜在ニーズに
先回りして応える営業

ソリューション提案型企业

Cs STEP 2015
サプライチェーンを支える優れた
物流企業



YASDA



当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当資料は、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境等の変化に伴い、目標や計画に対し変化し得ることにご留意下さい。

投資を行う際には、必ず弊社が作成する有価証券報告書等をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。